

つれづれなるまゝに 第2号

平成30年6月21日（木）発行



校長 深谷 浩一

「知」の中央へ！



Welcome to Chuo High School,
the Center of Virtue.

先日の蒼星祭当日から、校門の正面向かって左側にこの文字が書かれた横断幕を掲げています。蒼星祭の開祭式の挨拶の中で、私は、「この『知』と、英語の“virtue”には深い意味がある」と言いましたが、どんな意味なのかについてはお話ししませんでした。

今回はこれらの意味について、少々詳しくご説明いたします。

○ ○ ○

さて、本校の校章は、「知行合一の先導的実践と知・情・意の調和を図り、高邁（こうまい）な理想に向け限りなく前進する本校の姿をデザイン化した」（『生徒手帳』「校章の由来」より。）ものですが、この「知行合一」と「知・情・意の調和」を端的に表現したことが「知」なのです。

「知行合一」とは、「ちこうごういつ」と読み、簡単に言えば、「知識と行為は一体であるということ」で、「知るということは、実践を伴わなければならない」ということです。この考え方は、中国の明（みん）の時代に、王陽明という人が唱えたので、日本では「陽明学」と呼ばれ、幕末の志士たちに大きな影響を与えた思想でもあります。たとえば、長州藩（現山口県）の吉田松陰は、自宅の松下村塾に「知行合一」と書かれた掛け軸を掲げ、自ら「陽明学者」と名乗っていたことは有名な話です。

さて、この「知」を英語で表現するとしたら、どんな単語をあてるべきでしょうか。実は、私は三年前にその課題にチャレンジして、最終的に“virtue”（人徳）という言葉をあてました。「知」が単なる知識（knowledge）ではなく、「知・情・意の調和」を表現する言葉であることから、英訳には苦労しましたが、「中央高校の生徒には、こうあってもらいたい」という願いを込めて、“virtue”を選んだのでした。



“Virtue”に込められた思い

中央高校を「道徳の中心」と言い切ることに對しては、少々ためらいもありますが、あえて「本校は人間性あふれる道徳の中心なのだ」と断言することによって、学校が目指す理想像や望ましい生徒像を明確にすることができると考え、不遜に思われるかも知れませんが、この言葉を使うことにしました。私がこの“virtue”に込めた思いは、次の三つです。

○ 地域住民や中学校から信頼される学校になる

地域の人々は、いつも皆さんの様子を見ているわけではありません。スーパーやコンビニ、あるいは路上で、皆さんのうちの誰かと接した人がその時の印象で「中央高校の生徒は・・・」と生徒を評価します。皆さんは、皆さんのうちの誰かの言動によって、一瞬のうちに、賞賛されたり批判されたりしてしまうのです。

皆さんのうち、ほとんどの生徒は素晴らしい生徒であることを私は知っていますが、地域の方々はいつも接しているわけではないので、そう考えている人ばかりではないのです。

中学校の先生方は、風の噂で卒業生である皆さんの様子を知ります。皆さんが部活や生徒会活動などで活躍して新聞に載ったり、難関大学に合格したりして、本校の広報誌を見れば、先生方の耳に入りますが、逆に「石岡駅の近くで遊んでいる」などという噂もすぐに届いてしまうものです。

○ 自律ある行動ができる生徒をつくる

本校校訓のひとつ「自律」は、あらゆる“virtue”の中でも最も大切な「美德」の一つです。

一学期の始業式にもお話ししましたが、「弱い自分に負けない、強い自分になる」ためには、自分を厳しく律する必要があります。誘惑に負けない強い意志をもって自分をコントロールすることができれば、道は必ず開けるものです。

○ 心のふれあいを大切にできる学校になる

去る6月15日（金）、16日（土）の両日、本校伝統の蒼星祭が開催されました。今年の蒼星祭では、初めての試みとなる新体操部の演技発表とスポーツ科学コース合同の「座頭市ダンス」が披露されました。いずれの発表も堂々とした演技で一般公開で来場した人々は、感動すら覚えたのではないのでしょうか。

このような学校行事や部活動の大きなねらいは、人と協働することで、人に対する思いやりの気持ちを学ぶことです。クラスが一丸となって一つの企画や催物に取り組む経験は、生涯の友情を育むための、何ものにも代え難い財産となります。

本校では、こうした「心のふれあい」の機会を数多く創ることによって、「人間性あふれる人づくり」に取り組んでいきたいと考えています。



「『知』の中央へ！」の「知」に“virtue”をあてることになった^{うよきよくせつ}紆余曲折の経緯については、本校ホームページの「中央高校に関わりのある題材」の中の「『知』の中央へ！」という記事に書かれていますので、そちらをご覧くださいと思います。（おわり）